

平成 26 年度国産畜産物安心確保等支援事業
(快適性に配慮した家畜の飼養管理推進事業)

採卵鶏の飼養実態アンケート調査報告書

平成 27 年 3 月

公益社団法人 畜産技術協会

目 次

I. 調査の目的	1
II. 調査の方法	1
III. 調査の結果	2
■ 基本事項	2
■ 飼養管理について	5
1. 観察・記録について	5
2. 給餌・給水について	6
3. 飼養環境について	9
4. 飼養施設について	13
5. 疾病・外傷等への対応	20
6. 外科的処置について	23
7. その他	25
アンケート調査用紙	27

I. 調査の目的

近年、アニマルウェルフェアは世界的に注目され、国際機関である OIE（国際獣疫事務局）において、肉用牛及び肉用鶏のアニマルウェルフェア基準が採択され、他の畜種についても順次、検討が進められる予定である。また、ISO（国際標準化機構）では技術仕様書の検討が行われるなど、国際基準の作成に向けて様々な取り組みが進められている。

我が国では、平成 22 年度に「アニマルウェルフェアの考え方に対応した家畜の飼養管理指針」を取りまとめ、畜産関係者等に対して普及啓発を行ってきたが、国際機関等での検討や消費者等の関心が高まっていることから、今後、更には的確な対応が求められると考えられる。

そこで、今後のアニマルウェルフェアへの的確な対応に向けた検討を行う際の基礎資料として活用するため、本アンケート調査を実施した。

II. 調査の方法

本調査は、一般社団法人日本養鶏協会に委託して実施した。

調査に当たっては、平成 26 年 8 月 29 日付けで、一般社団法人日本養鶏協会から会員である全国 39 道府県養鶏協会を通じ、各協会傘下の採卵養鶏農家 724 件にアンケート調査票を送付した。

なお、アンケート送付数及び回答数は以下のとおりである。

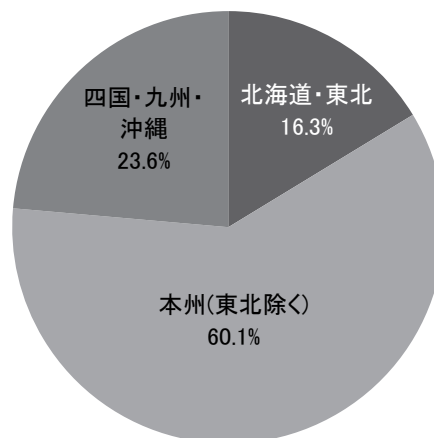
送付数	回答数	回答率
724 件	398 件	55.0%

Ⅲ. 調査の結果

■ 基本事項

1. 農場の所在地（都道府県名）をご記入ください

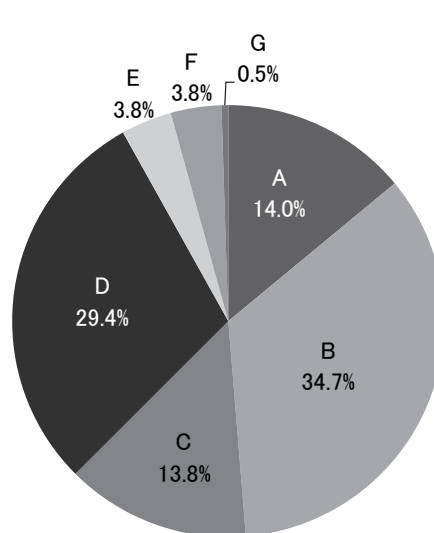
	件数	割合
A 北海道・東北	65	16.3%
B 本州(東北除く)	239	60.1%
C 四国・九州・沖縄	94	23.6%
合計	398	100.0%



地域別にみた農家戸数は、「東北を除く本州」が239件と60%を占めた。以下、「四国・九州・沖縄」が94件（24%）、「北海道・東北」が65件（16.3%）であった。

2. 農場の年平均(常時)飼養羽数(年平均)を教えてください

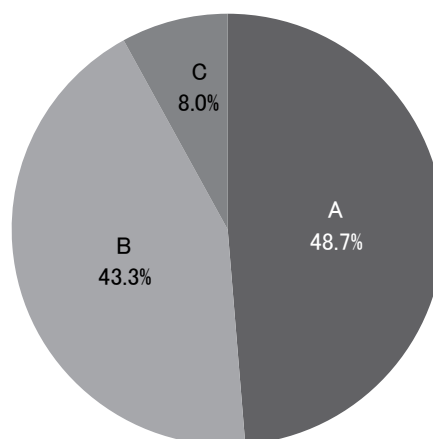
	件数	割合
A 1万羽未満	56	14.0%
B 1万羽以上5万羽未満	138	34.7%
C 5万羽以上10万羽未満	55	13.8%
D 10万羽以上50万羽未満	117	29.4%
E 50万羽以上100万羽未満	15	3.8%
F 100万羽以上300万羽未満	15	3.8%
G 300万羽以上	2	0.5%
合計	398	100.0%



農場の年平均飼養羽数は、「1万羽以上5万羽未満」が138件（35%）と最も多く、次いで「10万羽以上50万羽未満」が117件（29%）であった。

(飼養羽数規模の3階級区分)

	件数	割合
A 5万羽未満	194	48.7%
B 5万羽以上50万羽未満	172	43.3%
C 50万羽以上	32	8.0%
合計	398	100.0%



また、飼養羽数規模を3階級（5万羽未満、5万羽以上50万羽未満、50万羽以上）に区分した場合の農家戸数は、「5万羽未満」が194件（49%）、「5万羽以上50万羽未満」が172件（43%）とほぼ半数ずつを占め、「50万羽以上」は32件（8%）であった。

(地域別の飼養羽数規模)

	全国		北海道・東北		本州(東北除く)		四国・九州・沖縄	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
A 1万羽未満	56	14.0%	15	23.1%	31	13.0%	10	10.6%
B 1万羽以上5万羽未満	138	34.7%	14	21.5%	86	36.0%	38	40.4%
C 5万羽以上10万羽未満	55	13.8%	7	10.8%	32	13.3%	16	17.0%
D 10万羽以上50万羽未満	117	29.4%	20	30.8%	75	31.4%	22	23.4%
E 50万羽以上100万羽未満	15	3.8%	6	9.2%	5	2.1%	4	4.3%
F 100万羽以上300万羽未満	15	3.8%	2	3.1%	9	3.8%	4	4.3%
G 300万羽以上	2	0.5%	1	1.5%	1	0.4%	0	0%
合計	398	100%	65	100%	239	100%	94	100%

(地域別の飼養羽数規模 3階級区分)

	全国		北海道・東北		本州(東北除く)		四国・九州・沖縄	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
A 5万羽未満	194	48.7%	29	44.7%	117	49.0%	48	51.1%
B 5万羽以上50万羽未満	172	43.3%	27	41.5%	107	44.8%	38	40.4%
C 50万羽以上	32	8.0%	9	13.8%	15	6.2%	8	8.5%
合計	398	100%	65	100%	239	100%	94	100%

最も戸数の多い飼養羽数規模を地域別でみたところ、「北海道・東北」では「10万羽以上50万羽未満」が20件（30.8%）、「東北を除く本州」及び「四国・九州・沖縄」では「1万羽以上5万羽未満」がそれぞれ86件（36%）、38件（40.4%）であった。これらは日本列島を南下するに従い、規模が小さくなる傾向を示している。

ただし、3階級区分では、いずれの地域でも「5万羽未満」の農場が45～51%とほぼ半数を占めていた。

3. 農場内の鶏舎の種類別棟数をご記入ください（重複回答あり）

飼養形態 鶏舎タイプ		ケージ				平飼い	放し飼い	その他	
		従来型(コンベクション)		エンリッチ	合計				
		Aライン (ヒナ段)	直立						
A 開放鶏舎	回答数(戸)	246	47	3	296	41	10	4	
	合計(棟)	1,642	218	4	1,864	198	42	20	
	平均(棟)	6.7	4.6	1.3	—	4.8	4.2	5.0	
	割合(棟数)	88.1%	11.7%	0.2%	100%				
B ウィンドウレス鶏舎									
従来型	陽圧式	回答数(戸)	17	30	1	48	0	0	1
		合計(棟)	61	90	1	152	—	—	1
		平均(棟)	3.6	3.0	1.0	—	—	—	1.0
	陰圧式	回答数(戸)	46	39	0	85	2	0	0
		合計(棟)	207	195	—	402	9	—	—
		平均(棟)	4.5	5.0	—	—	4.5	—	—
トンネル換気	回答数(戸)	35	80	3	118	1	0	0	
	合計(棟)	163	506	7	676	3	—	—	
	平均(棟)	4.7	6.3	2.3	—	3.0	—	—	
ケージ型別棟数 計		431	791	8	1,230				
割合		35.0%	64.3%	0.7%	100%				

(ウィンドウレス鶏舎 ケージ飼い内訳)

	ケージ飼い			従来型			※1戸当たり平均棟数	
	従来型	トンネル換気	合計	陽圧式	陰圧式	合計	回答数(戸)	棟数
棟数	554	676	1,230	152	402	554	390	3,367
割合	45.0%	55.0%	100%	27%	73%	100%	8.6	

飼養形態別・鶏舎タイプ別の農家戸数（重複回答含む）及び棟数は、開放鶏舎ではケージ飼いが296戸・1,864棟、平飼いが41戸・198棟、放し飼いが10戸・42棟であった。

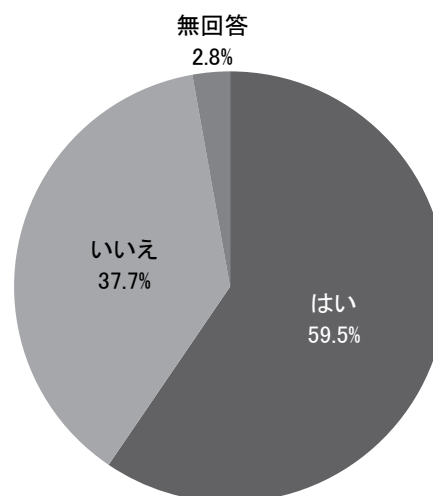
一方、ウィンドウレス鶏舎ではケージ飼いが251戸・1,230棟、平飼いが3戸・12棟であった。

ケージ飼いにおける換気様式は、従来型が45%、トンネル換気が55%となっており、従来型のうち、陽圧式は27%、陰圧式が73%であった。

ケージタイプ別では、開放鶏舎でAライン型が88%、直立型が12%、エンリッチ型が0.2%の割合を占め、ウィンドウレス鶏舎ではAライン型35%、直立型が64%、エンリッチ型が1%と、開放鶏舎に比較して直立型のケージの割合が高くなっていった。

4. 平成 21 年 3 月に作成された「アニマルウェルフェアの考え方に対応した採卵鶏の飼養管理指針」をご存知ですか。

	件数	割合
A はい	237	59.5%
B いいえ	150	37.7%
C 無回答	11	2.8%
合計	398	100.0%



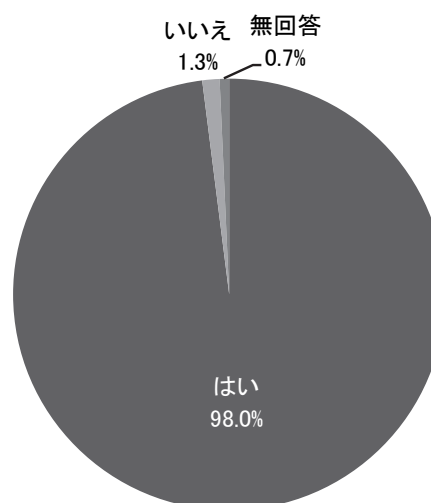
今回のアンケート結果では、「知っている」と答えた農場が 237 件で 59.5%を占めていた。

■ 飼養管理

1. 観察・記録について

問 1. 1 日 1 回以上、鶏の健康状態を観察していますか

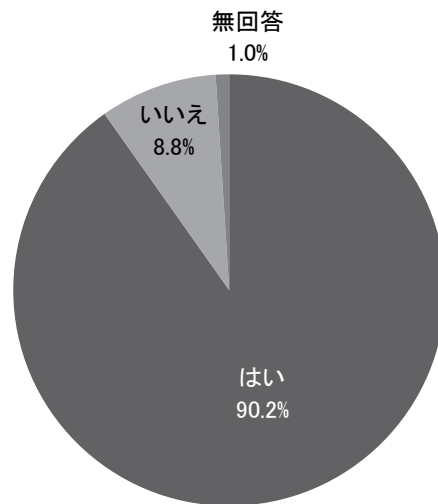
	件数	割合
A はい	390	98.0%
B いいえ	5	1.3%
C 無回答	3	0.7%
合計	398	100.0%



「1 日 1 回以上、鶏の健康状態を観察している」と回答した農場は 390 件で 98%にのぼり、ほとんどの農場で毎日観察を行っていた。

問2. 飼養管理（健康状態、疾病、へい死や事故の発生の有無、治療やワクチン接種の履歴、死亡羽数、産卵の状況、舎内温度等）に関する記録を毎日記帳していますか

	件数	割合
A はい	359	90.2%
B いいえ	35	8.8%
C 無回答	4	1.0%
合計	398	100.0%

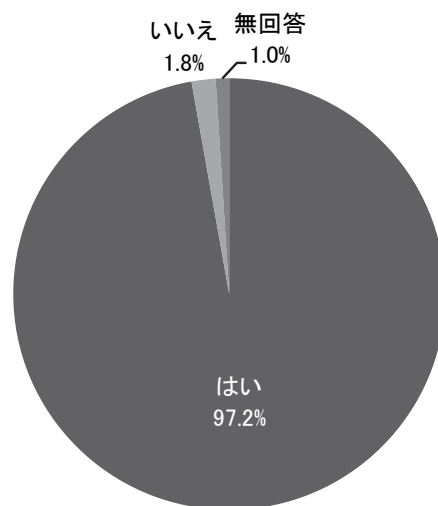


「飼養管理に関する記録を毎日記帳している」と回答した農場は 359 件で 90.2%であった。

2. 給餌・給水について

問3. 鶏の発育段階等に応じた飼料を給与していますか

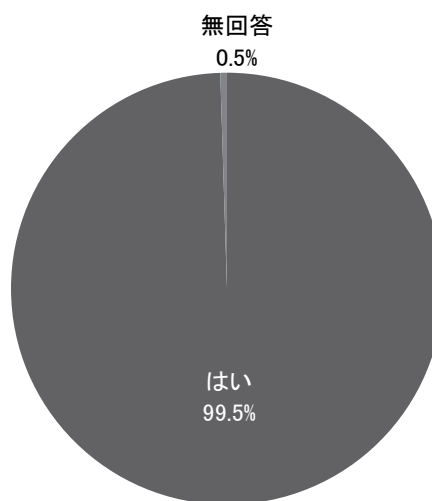
	件数	割合
A はい	387	97.2%
B いいえ	7	1.8%
C 無回答	4	1.0%
合計	398	100.0%



「鶏の発育段階等に応じた飼料給与を行っている」と回答した農場は 387 件で 97.2%を占めた。

問4. 毎日、新鮮な飼料と水を十分に給与していますか

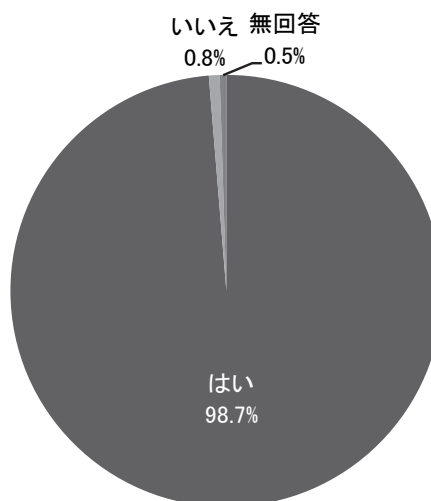
	件数	割合
A はい	396	99.5%
B いいえ	0	0.0%
C 無回答	2	0.5%
合計	398	100.0%



無回答以外のすべて農場で「毎日、新鮮な飼料と水を十分に給与している」との回答であり、アンケートに回答した農場の99.5%を占めた。

問5. 毎日、新鮮な飼料や水を給与するため、給餌・給水ラインや給餌・給水器等の点検・確認を行っていますか

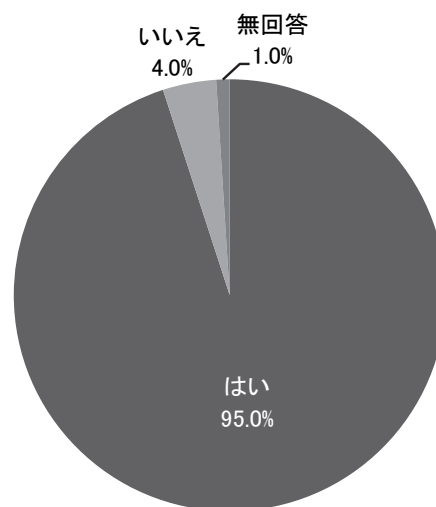
	件数	割合
A はい	393	98.7%
B いいえ	3	0.8%
C 無回答	2	0.5%
合計	398	100.0%



「毎日、新鮮な飼料と飲水を十分に給与するため、給餌・給水ラインや給餌・給水器等の点検・確認を行っている」と回答した農場は393件(98.7%)であった。

問6. 給餌器や給水器が、残差や糞等で汚れた場合、定期的に清掃を行っていますか

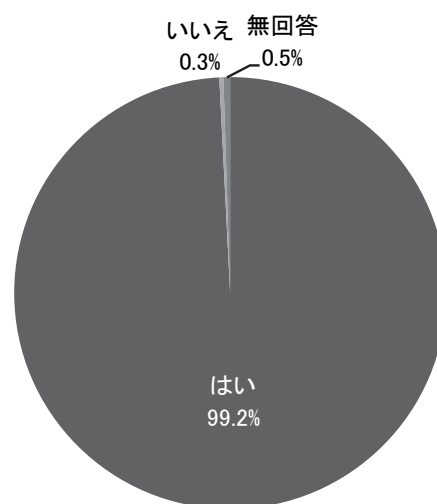
	件数	割合
A はい	378	95.0%
B いいえ	16	4.0%
C 無回答	4	1.0%
合計	398	100.0%



「給餌器や給水器の定期的な清掃を行っている」と回答した農場は378件（95%）であった。

問7. 鶏が不自由なく飼料を食べたり、水を飲んだりできていますか

	件数	割合
A はい	395	99.2%
B いいえ	1	0.3%
C 無回答	2	0.5%
合計	398	100.0%

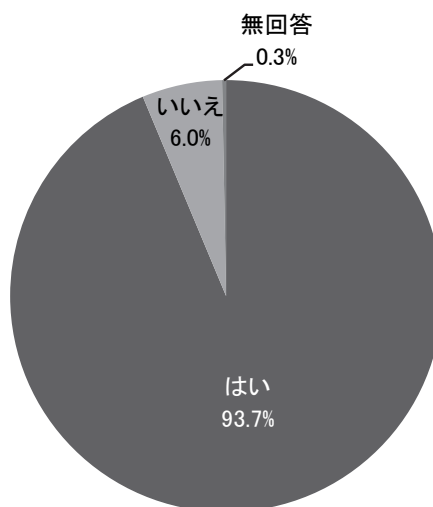


無回答以外のほぼすべての農場で「鶏が不自由なく飼料摂取、飲水できる環境で飼育されている」との回答があり、アンケートに回答した農場の99.2%を占めた。

3. 飼養環境について

問8. 暑熱対策を行っていますか

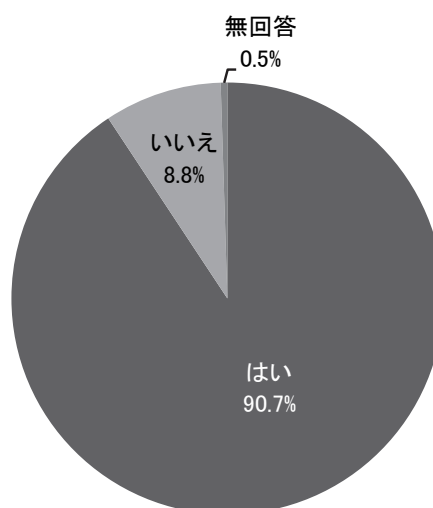
	件数	割合
A はい	373	93.7%
B いいえ	24	6.0%
C 無回答	1	0.3%
合計	398	100.0%



「暑熱対策を行っている」と回答した農場は373件（93.7%）であった。

問9. 寒冷対策を行っていますか

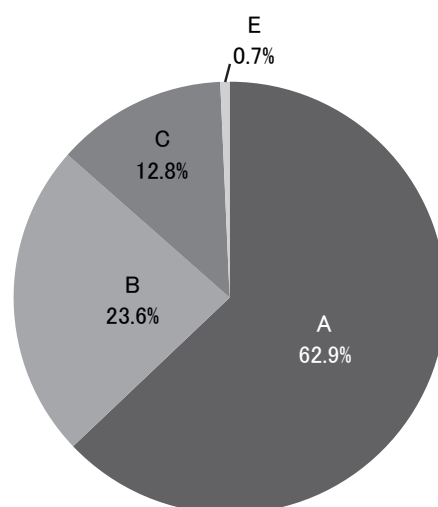
	件数	割合
A はい	361	90.7%
B いいえ	35	8.8%
C 無回答	2	0.5%
合計	398	100.0%



「寒冷対策を行っている」と回答した農場は361件（90.7%）で、暑熱対策よりも対応している農場は若干少なかった。

問 10. 鶏舎内の空調設備や照明設備等の点検・整備は行っていますか

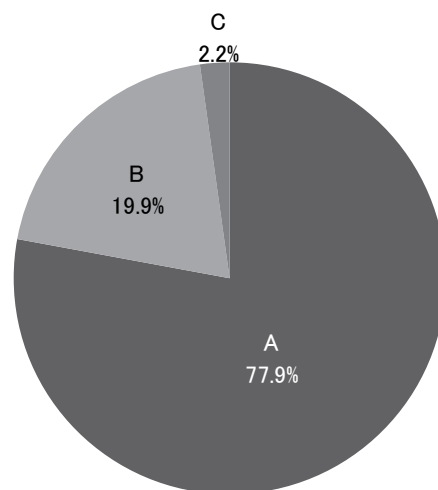
	件数	割合
A 定期的に点検・整備している	250	62.9%
B 使う必要がある際に点検・整備している	94	23.6%
C 点検は行っていないが、壊れたら整備している	51	12.8%
D 点検・整備はせず、壊れたままになっている	0	0%
E 無回答	3	0.7%
合計	398	100.0%



鶏舎内の空調設備や照明設備の点検・整備については、「定期的に行う」と回答した農場が 250 件 (62.9%)、「使用時に行う」が 94 件 (23.6%)、「故障時に行う」が 51 件 (12.8%) であった。

問 11. 鶏舎内の明るさは確保できていますか

	件数	割合
A 照明器具の設置や窓の開閉などにより十分に確保できている	310	77.9%
B ストレス対策として照度を抑え作業を行うに問題ないレベルとしている	79	19.9%
C 自然光のみにしている	9	2.2%
合計	398	100.0%



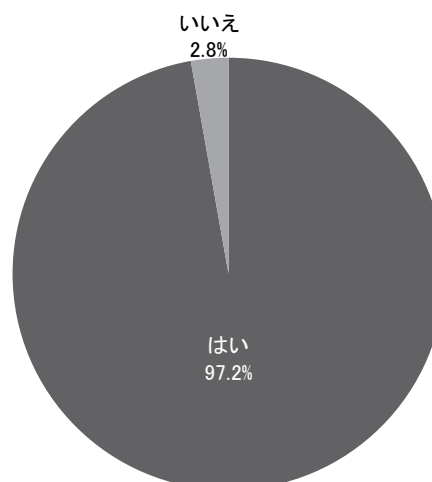
鶏舎内の明るさの確保については、「自然光のみ」と回答した農場が 9 件 (2.2%) あったが、その他 389 件 (97.8%) の農場では、「照明器具の設置や窓の開閉を実施する」、「ストレス対策として照度を抑えつつ、作業には問題ないレベルを保つ」などの対応がなされていた。

問 12. 鶏舎内の光線管理を行っていますか（鶏舎タイプごとに）

1) 開放鶏舎

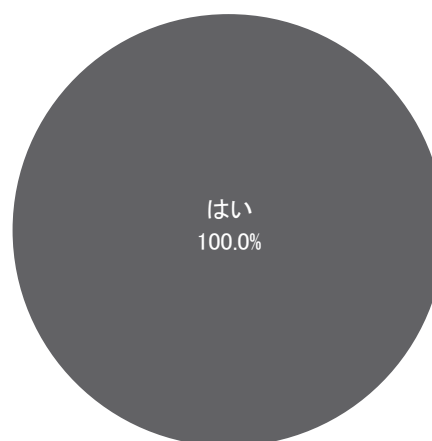
① 舎飼い

	件数	割合
A はい	281	97.2%
B いいえ	8	2.8%
合計	289	100.0%



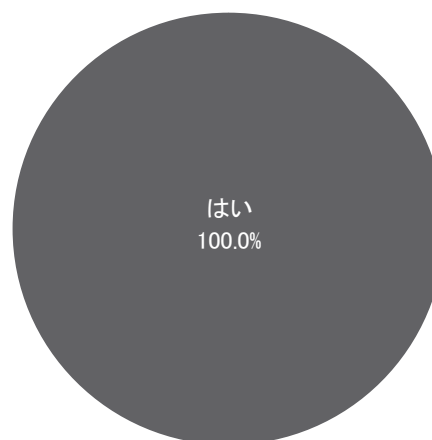
② 放し飼い

	件数	割合
A はい	19	100.0%
B いいえ	0	0%
合計	19	100.0%



2) ウィンドウレス鶏舎

	件数	割合
A はい	183	100.0%
B いいえ	0	0%
合計	183	100.0%



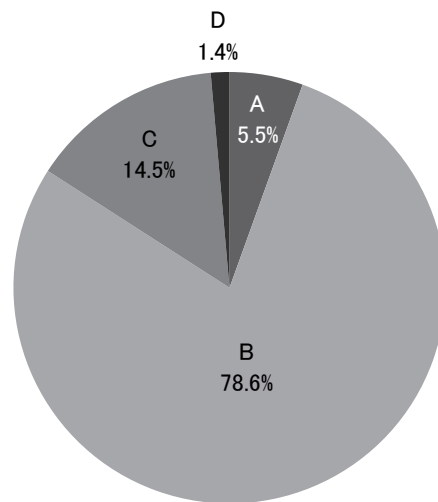
鶏舎内光線管理については、「光線管理を行っている」と回答した農場が、開放鶏舎で舎飼いの農場では 289 件中 281 件（97.2%）、放し飼いの農場では 19 件すべてで実施されていた。ウィンドウレス鶏舎では、当然ではあるが 183 件すべての農場で実施されていた。

問 13. 1 日の照明時間（自然＋点灯）は何時間ですか（鶏舎タイプごとに）

1) 開放鶏舎

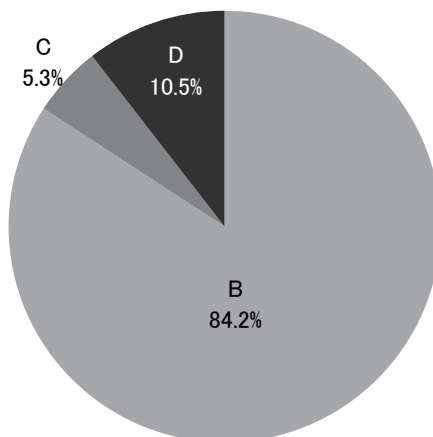
① 舎飼い

	件数	割合
A ~12 時間	16	5.5%
B 12~16 時間	227	78.6%
C 16~20 時間	42	14.5%
D 無回答	4	1.4%
合計	289	100.0%



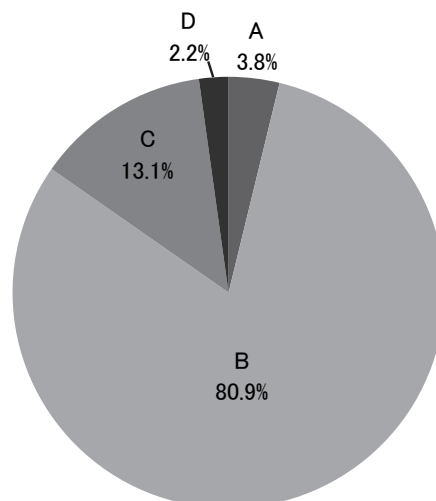
② 放し飼い

	件数	割合
A ~12 時間	0	0%
B 12~16 時間	16	84.2%
C 16~20 時間	1	5.3%
D 無回答	2	10.5%
合計	19	100.0%



2) ウインドウレス鶏舎

	件数	割合
A ~12 時間	7	3.8%
B 12~16 時間	148	80.9%
C 16~20 時間	24	13.1%
D 無回答	4	2.2%
合計	183	100.0%



1日の照明時間は、開放鶏舎で舎飼いの農場では、一般的な照明時間である「12~16時間」が227件（78.6%）であった。

放し飼いの農場では、産卵場所や餌場として建屋を設置するのが標準的であり、「12~16時間照明」が16件（84.2%）で舎飼いと同様に多数を占めていた。

一方、ウインドウレス鶏舎においては、「12~16時間」が148件（80.9%）、「16~20時間」が24件（13.1%）、「12時間未満」が7件（3.8%）であった。

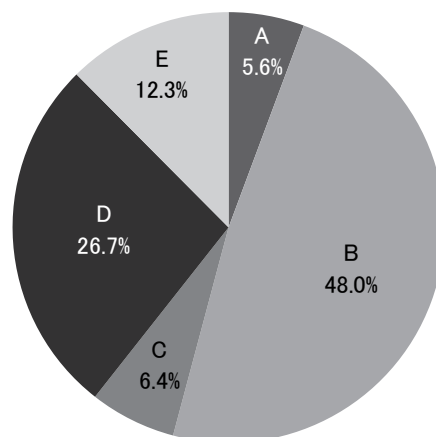
4. 飼養施設について

【農場で主に使用しているケージについてお答えください】

※問14~22：ケージ飼い農場の正確な全戸数が不明なため、回答数が最多であった375件を100%とした（問18は除く）。

問14. 農場で主に使用しているケージの1ケージ当たりの収容羽数はどれに当てはまりますか

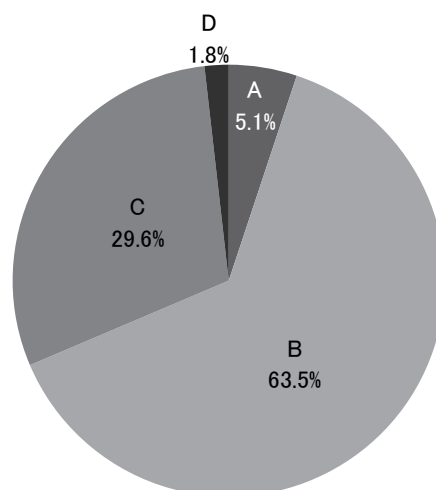
	件数	割合
A 1羽	21	5.6%
B 2羽	180	48.0%
C 3~4羽	24	6.4%
D 5~6羽	100	26.7%
E 7羽以上	46	12.3%
F 無回答	4	1.0%
合計	375	100.0%



1ケージ当たりの収容羽数は、「2羽」と回答した農場が180件（48.0%）と最も多く、次いで「5~6羽」が100件（26.7%）であり、両者で280件と74.7%を占めた。

問 15. ケージの高さは、どれに当てはまりますか

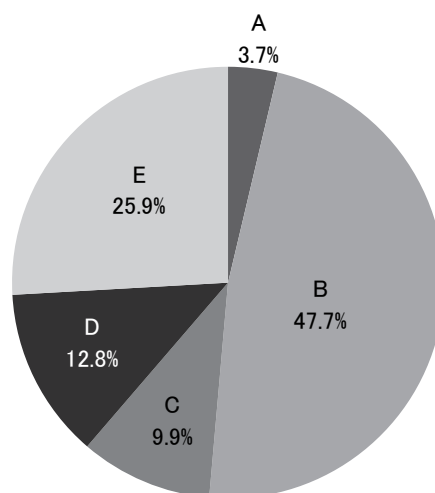
	件数	割合
A 40cm 未満	19	5.1%
B 40cm 以上 45cm 未満	238	63.5%
C 45cm 以上	111	29.6%
D 無回答	7	1.8%
合 計	375	100.0%



ケージの高さは、「40cm 以上 45cm 未満」が 238 件 (63.5%)、「45cm 以上」が 111 件 (29.6%) であり、高さ「40cm 以上」のケージを使用している農場が 349 件と 93.1%を占めていた。

問 16. ケージの間口は、どれに当てはまりますか

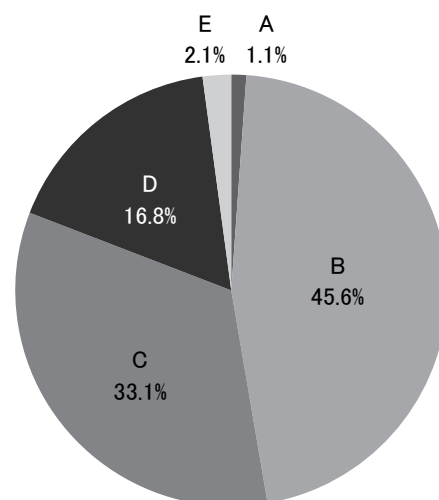
	件数	割合
A 20cm 未満	14	3.7%
B 20cm 以上 30cm 未満	179	47.7%
C 30cm 以上 40cm 未満	37	9.9%
D 40cm 以上 50cm 未満	48	12.8%
E 50cm 以上	97	25.9%
合 計	375	100.0%



ケージの間口は、「20cm 以上」の農場が多く、そのうち「20cm 以上 30cm 未満」が 179 件 (47.7%)、「50cm 以上」が 97 件 (25.9%) であった。「20cm 以上 30cm 未満」は開放鶏舎、「50cm 以上」はウインドウレス鶏舎で多く用いられていた。

問 17. ケージの奥行（卵受け部、糞乾燥部は除く）は、次のどれに当てはまりますか

	件数	割合
A 35cm 未満	4	1.1%
B 35cm 以上 45cm 未満	171	45.6%
C 45cm 以上 55cm 未満	124	33.1%
D 55cm 以上 65cm 未満	63	16.8%
E 65cm 以上	8	2.1%
F 無回答	5	1.3%
合計	375	100.0%



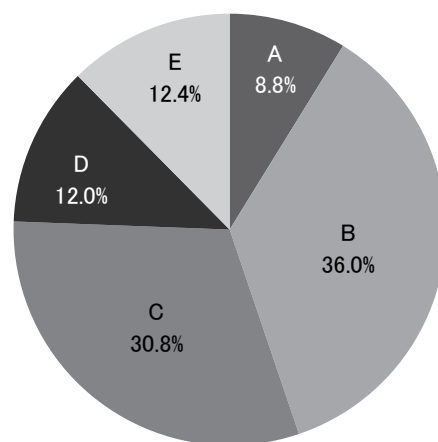
ケージの奥行は、「35cm 以上 45cm 未満」が 171 件 (45.6%)、「45 cm 以上 55cm 未満」が 124 件 (33.1%) と「35cm 以上 55cm 未満」である農場が 78.7%を占めた。「35cm 未満」や「65cm 以上」の農場も僅かながらみられた。

問 18. 1羽当たりの飼養面積は、次のどれに当てはまりますか

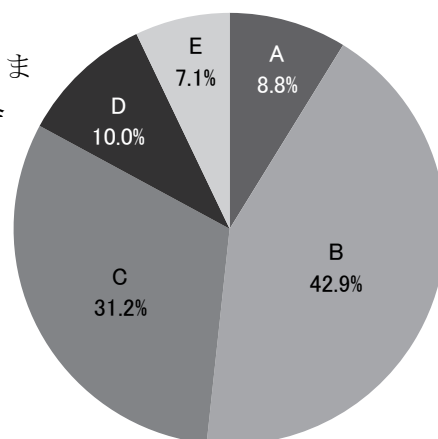
鶏舎種別	1)開放鶏舎		2)ウインドウレス鶏舎	
	件数	割合	件数	割合
A 370 cm ² 未満	22	8.8%	15	8.8%
B 370 cm ² 以上 430 cm ² 未満	90	36.0%	73	42.9%
C 430 cm ² 以上 490 cm ² 未満	77	30.8%	53	31.2%
D 490 cm ² 以上 550 cm ² 未満	30	12.0%	17	10.0%
E 550 cm ² 以上	31	12.4%	12	7.1%
合計	250	100.0%	170	100.0%

※本設問は鶏舎タイプ別に回答が示された全農場数を 100%とした。

1) 開放鶏舎



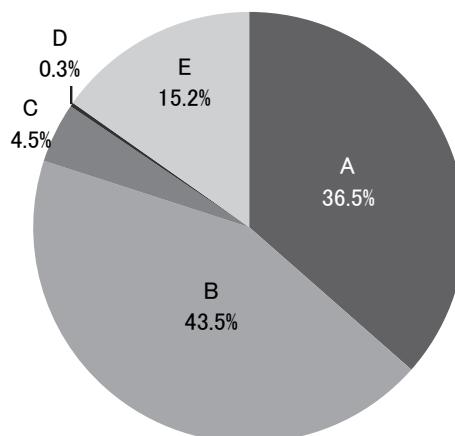
2) ウインドウレス鶏舎



1羽当たりの飼養面積は、「370 cm²未満」から「550 cm²以上」まで幅広い分布となっていたが、開放鶏舎、ウインドウレス鶏舎とも「370 cm²以上 430 cm²未満」と回答した農場が最多であり、次いで「430 cm²以上 490 cm²未満」が多かった。それ以外の飼養面積については、開放鶏舎、ウインドウレス鶏舎ともほぼ同様の割合であったが、開放鶏舎に比べてウインドウレス鶏舎では、「490 cm²以上」の農場がやや少ない傾向がみられた。

問 19. ケージの床の勾配は、次のどれに当てはまりますか

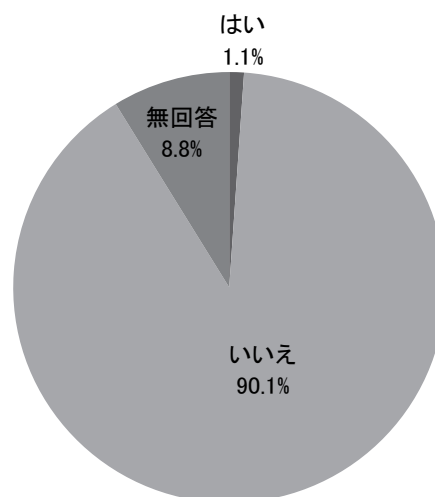
	件数	割合
A 8° 未満	137	36.5%
B 8° 以上 10° 未満	163	43.5%
C 10° 以上 12° 未満	17	4.5%
D 12° 以上	1	0.3%
E 無回答	57	15.2%
合計	375	100.0%



ケージ床の勾配は、「8° 未満」が 137 件 (36.5%)、「8° 以上 10° 未満」が 163 件 (43.5%) と、「10° 未満」の農場が 80.0%を占めており、「10° 以上」の傾斜がある農場は 4.8%と僅かであった。

問 20. ケージ内に産卵箱を設置していますか

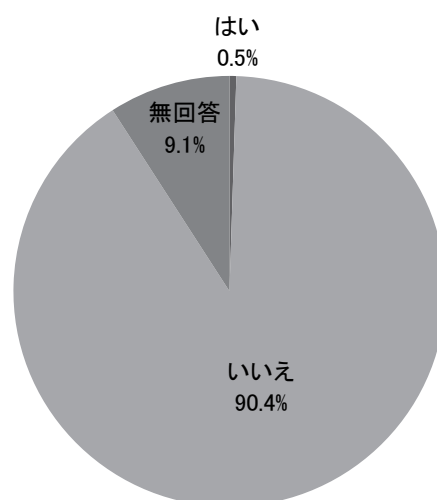
	件数	割合
A はい	4	1.1%
B いいえ	338	90.1%
C 無回答	33	8.8%
合計	375	100.0%



ケージ飼いの場合、ほとんどの農場で「ケージ内に産卵箱を設置していない」との回答であった。「産卵箱を設置している」と回答した農場が 4 件あったが、鶏舎の種類が複数回答であったため、回答農場の飼養形態の特定はできなかった。

問 21. ケージ内に砂浴び場を設置していますか

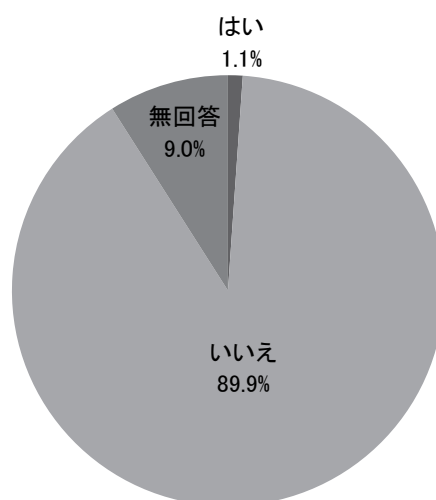
	件数	割合
A はい	2	0.5%
B いいえ	339	90.4%
C 無回答	34	9.1%
合計	375	100.0%



「ケージ内に砂浴び場を設置している」と回答した農場は2件で、エンリッチドケージおよびAラインケージが各1件であった。

問 22. ケージ内に止まり木を設置していますか

	件数	割合
A はい	4	1.1%
B いいえ	337	89.9%
C 無回答	34	9.0%
合計	375	100.0%



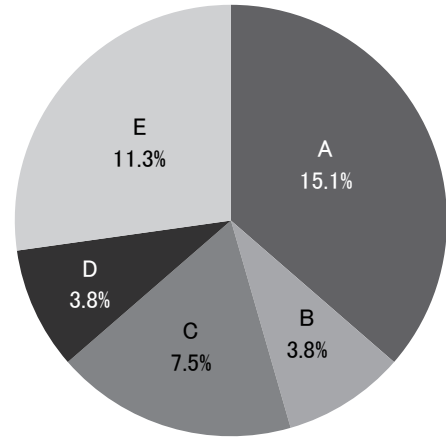
「ケージ内に止まり木を設置している」と回答した農場は4件あり、エンリッチドケージの1件は推定できたが、他の3件については、平飼いででの止まり木の設置を誤記入したと思われること、1つの農場で複数の種類の鶏舎を有している場合があること等から、飼養形態の特定はできなかった。

【平飼いを行われている場合、以下の設問についてお答えください】

※問 23～26：平飼い農場の正確な全戸数が不明なため、回答数が最多であった 53 件を 100%とした

問 23. 平飼いで1羽当たりの飼養面積は、どれに当てはまりますか

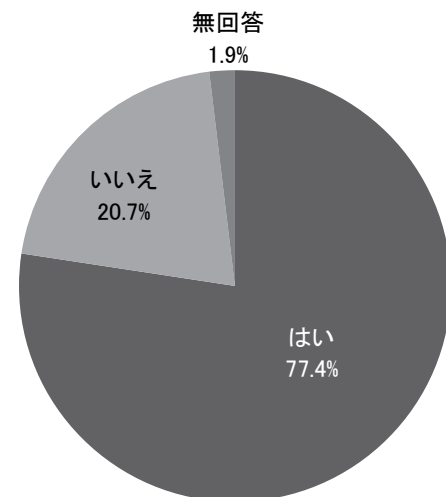
	件数	割合
A 370 cm ² 未満	8	15.1%
B 370 cm ² 以上 430 cm ² 未満	2	3.8%
C 430 cm ² 以上 490 cm ² 未満	4	7.5%
D 490 cm ² 以上 550 cm ² 未満	2	3.8%
E 550 cm ² 以上 1,000 cm ² 未満	6	11.3%
F 1,000 cm ² 以上	21	39.6%
G 無回答	10	18.9%
合計	53	100.0%



平飼いを行っている場合、1羽当たりの飼養面積は、「550 cm²以上 1,000 cm²未満」が 6 件 (11.3%)、「1,000 cm²以上」が 21 件 (39.6%) と、「550 cm²以上」の農場が 50.9%を占めていた。「370 cm²未満」の 8 件 (15.1%) が 2 番目に多く、やや 2 極化の傾向がみられた。

問 24. 採卵鶏用平飼いの飼養設備内に産卵箱を設置していますか

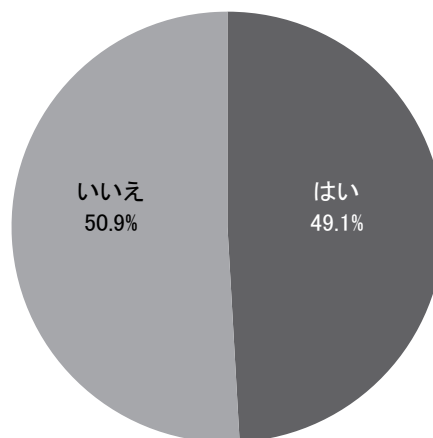
	件数	割合
A はい	41	77.4%
B いいえ	11	20.7%
C 無回答	1	1.9%
合計	53	100.0%



平飼いの飼養設備内に「産卵箱を設置している」と回答した農場は 41 件 (77.4%)、「設置していない」は 11 件 (20.7%) であった。

問 25. 平飼いの飼養設備内に砂浴び場を設置していますか

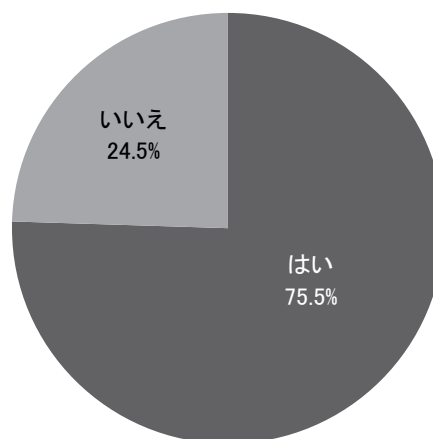
	件数	割合
A はい	26	49.1%
B いいえ	27	50.9%
C 無回答	0	0%
合計	53	100.0%



平飼い飼養設備内の砂浴び場の有無は、回答のあった農場ではほぼ半数ずつの割合であった。

問 26. 平飼いの飼養設備内に止まり木を設置していますか

	件数	割合
A はい	40	75.5%
B いいえ	13	24.5%
C 無回答	0	0%
合計	53	100.0%

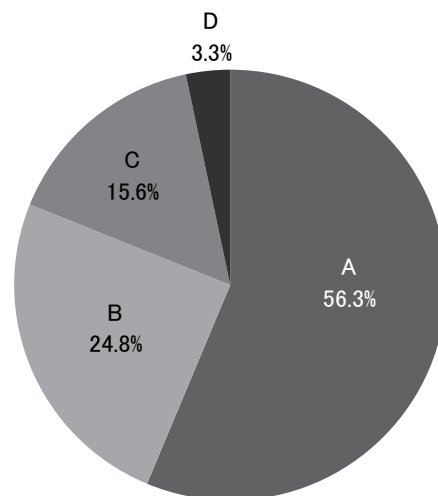


飼養設備内への「止まり木の設置を行っている」と回答した農場は40件（75.5%）であった。

5. 疾病・外傷等への対応

問 27. 鶏の怪我や疾病が発生した場合、迅速な治療を行っていますか

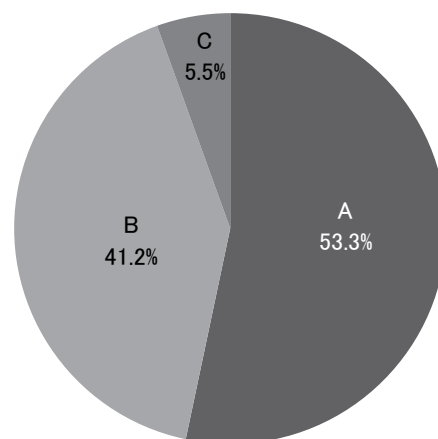
	件数	割合
A 行っている	224	56.3%
B 多少の外傷や症状が軽ければ経過を見て、悪化したら治療している	99	24.8%
C 行っていない	62	15.6%
D 無回答	13	3.3%
合計	398	100.0%



「迅速な治療を行っている」と回答した農場は 224 件（56.3%）で、「悪化したら治療する」との回答が 99 件（24.8%）であり、81.1%の農場で疾病・外傷等への対応がなされていた。

問 28. 外傷や疾病の鶏が出た場合、他の鶏と分けて管理していますか

	件数	割合
A 重症の場合、単房などに入れて分けて管理している	212	53.3%
B 分けていない	164	41.2%
C 無回答	22	5.5%
合計	398	100.0%



外傷や疾病が重症の場合、「他の鶏と分けて管理している」と回答した農場は 212 件（53.3%）であった。

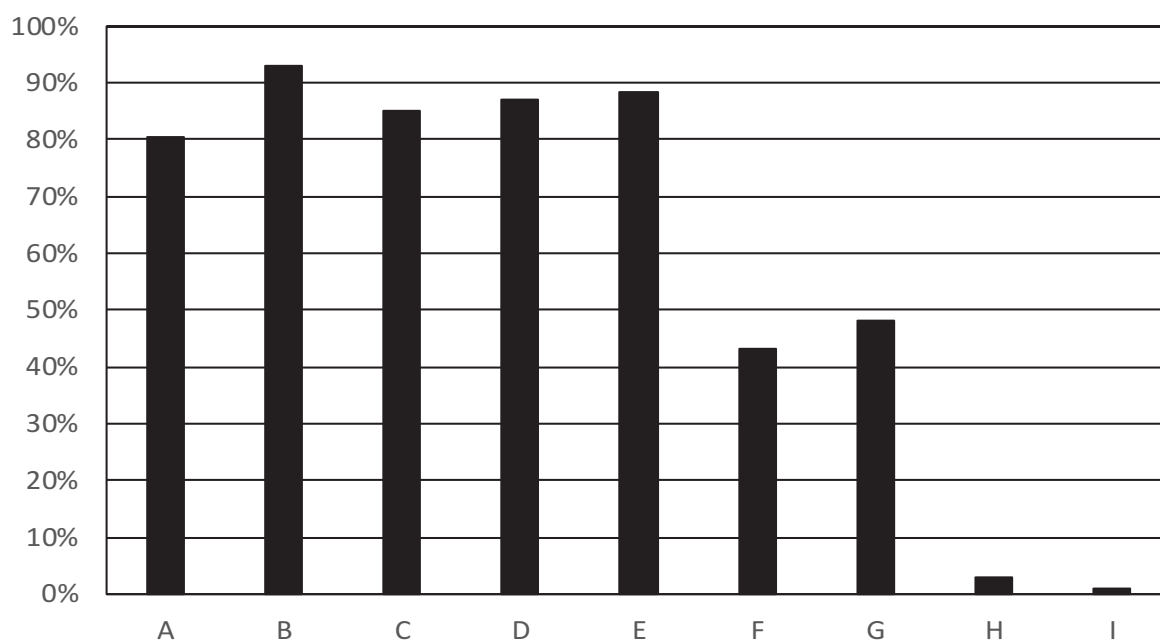
問 29. 農場内に病原体等を侵入させないための防疫対策をとっていますか ※複数回答可

	件数	割合	順位
A 車両消毒等の防疫施設を設置している	319	80.6%	5
B 踏込消毒層を鶏舎の出入口に置くなどの防疫対策を心がけている	368	92.9%	1
C 消石灰の散布を行っている	337	85.1%	4
D 鶏舎内に野生動物が侵入しないようにネット等を張っている	345	87.1%	3
E 外部者の出入り規制を行っている	350	88.4%	2
F 鶏舎毎の管理者を配置している	171	43.2%	7
G 鶏舎毎の衣服・長靴等の交換を行っている	190	48.0%	6
H その他	11	2.8%	8
I 特に行っていない	3	0.8%	9

*回答農場数 396 (無回答 2)

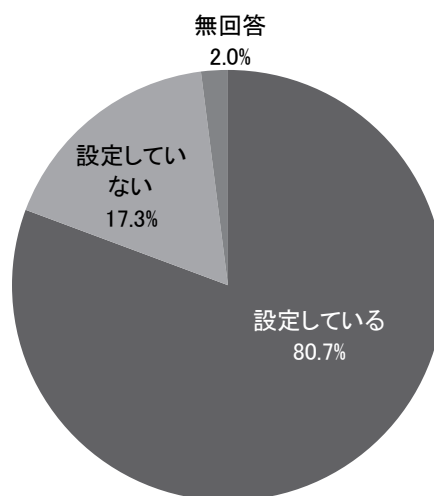
農場の防疫対策についての問いに対しては、396 件の農場から回答を得た。

防疫対策の方法は、①「踏込消毒槽の設置」が 368 件 (92.9%)、②「外部者の出入り規制」が 350 (88.4%)、③「鶏舎回りへのネット張り」が 345 件 (87.1%)、④「消石灰の散布」が 337 件 (85.1%)、⑤「車両消毒施設の設置」が 319 件 (80.6%) となっており、これらの対策は回答があった農場の 80%以上で実施されていた。



問 30. 農場の敷地に衛生管理区域（鶏舎等）とそれ以外の区域（住居、車庫等）の境界を設定していますか

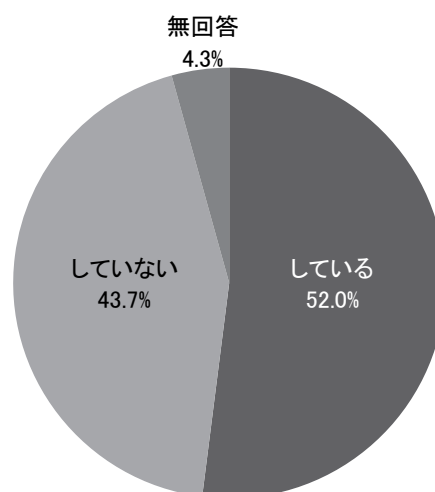
	件数	割合
A 設定している	321	80.7%
B 設定していない	69	17.3%
C 無回答	8	2.0%
合計	398	100.0%



農場の敷地内に「衛生管理区域とそれ以外の区域の境界を設定している」と回答した農場は 321 件と 80.7%を占めていた。

問 31. 作業動線を明確にして、防疫対策のための動線遮断を行っていますか

	件数	割合
A している	207	52.0%
B していない	174	43.7%
C 無回答	17	4.3%
合計	398	100.0%

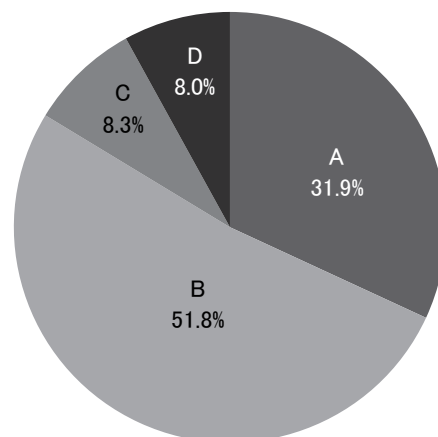


「防疫対策のための動線遮断を行っている」と回答した農場は 207 件（52.0%）であり、管理区域の設定よりも対応している農場は少なかった。

6. 外科的処置について

問 32. ビークトリミングを行っていますか

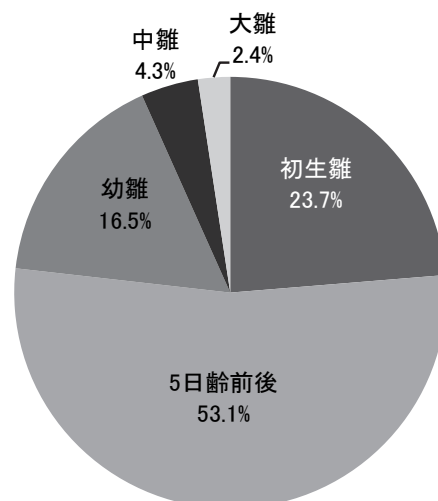
	件数	割合
A 素ひな導入時に行っている	127	31.9%
B 導入時にすでに行われている	206	51.8%
C 行っていない	33	8.3%
D 無回答	32	8.0%
合計	398	100.0%



ビークトリミングについては、「素ひな導入時に実施している」と回答した農場が 127 件 (31.9%)、「実施済みひなを導入している」が 206 件 (51.8%) であり、「ビークトリミングを実施したひなを飼養している」は 333 件と全体の 83.7%を占めていた。

問 33. ビークトリミングを行っている場合、通常、実施する時期はどれに当てはまりますか

	件数	割合
A 初生雛	60	23.7%
B 5日齢前後	135	53.1%
C 幼雛	42	16.5%
D 中雛	11	4.3%
E 大雛	6	2.4%
合計	254	100.0%

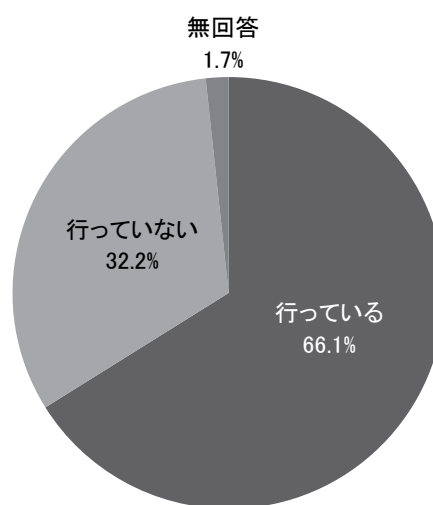


ビークトリミングの実施時期については、254 件の回答があったが、前問で「素ひな導入時に行っている」した 127 件を上回ることから、「導入時にすでに行われている」実施済みのひなを導入している農場からも実施時期を推定して回答があったと思われる。

本問に対する回答では、実施時期の割合は、「5日齢前後」が 53.1%、「初生雛」が 23.7%、「幼雛」が 16.5%、「中雛・大雛」が併せて 6.7%であった。

問 34. 換羽誘導を行っていますか

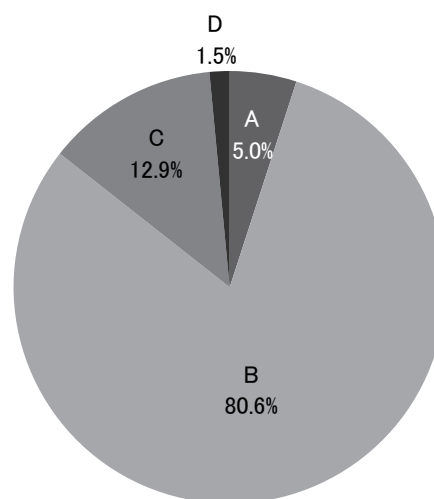
	件数	割合
A 行っている	263	66.1%
B 行っていない	128	32.2%
C 無回答	7	1.7%
合計	398	100.0%



換羽誘導は、「行っている」と回答した農場が 263 件 (66.1%) あり、「行っていない」が 128 件 (32.2%) であった。

問 35. 換羽誘導を行っている場合、どのような方法で行っていますか

	件数	割合
A 絶水絶食併用法	13	5.0%
B 絶食法	212	80.6%
C 低栄養飼料切替法	34	12.9%
D 無回答	4	1.5%
合計	263	100.0%

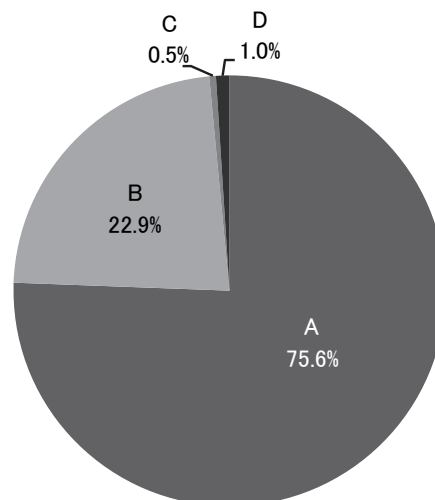


換羽誘導を実施していると回答した農場 263 件のうち、実施の方法は「絶食法」が 212 件 (80.6%) と最多であった。次いで、「低栄養飼料切替法」が 34 件 (12.9%)、「絶水絶食併用法」は 13 件 (5.0%) であった。

7. その他

問 36. 管理者が鶏舎内に入ったとき、鶏はどのような反応をしますか

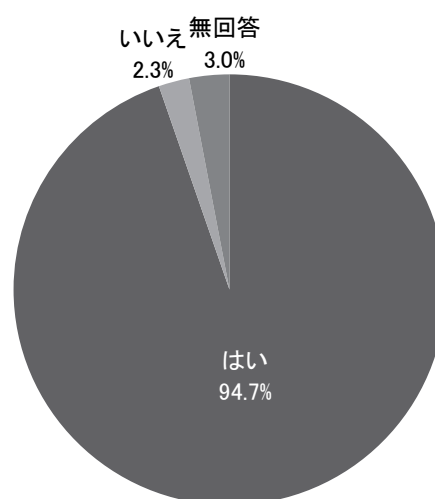
	件数	割合
A 騒がず、大人しい	301	75.6%
B 入った際には驚くが、その後すぐ静かになる	91	22.9%
C 入っている間、ずっと騒いでいる	2	0.5%
D 無回答	4	1.0%
合計	398	100.0%



管理者が鶏舎内に入ったときの鶏の反応は、「騒がず、大人しい」が 301 件（75.6%）と最多であった。次いで、「入った際には驚くが、すぐ静かになる」が 91 件（22.9%）であり、「ずっと騒いでいる」は 2 件（0.5%）と僅かであった。

問 37. 捕鳥する際、鶏が怪我等をしないように注意して作業を行っていますか

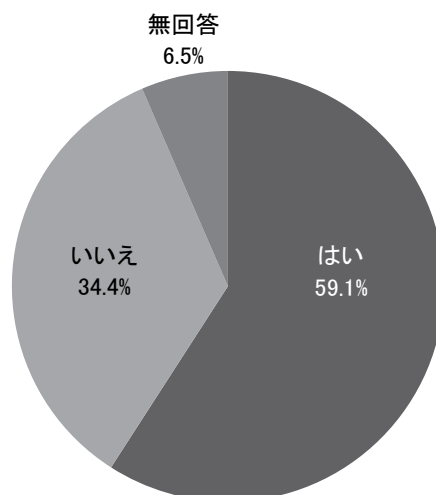
	件数	割合
A はい	377	94.7%
B いいえ	9	2.3%
C 無回答	12	3.0%
合計	398	100.0%



「捕鳥する際、鶏の怪我等に注意している」と回答した農場は 377 件で 94.7%を占めた。

問 38. 将来的に農場での飼養管理を考える際に、アニマルウェルフェアを検討する必要がある
と思いますか

	件数	割合
A はい	235	59.1%
B いいえ	137	34.4%
C 無回答	26	6.5%
合計	398	100.0%



将来的なアニマルウェルフェアの検討の必要性については、「はい」と回答した農場が 235 件で 59.1%であり、「いいえ」と無回答の農場を併せると 40.9%であった。

採卵鶏の飼養実態アンケート調査

■ 基本事項

1. あなたの農場の所在地（都道府県名）を下線部にご記入ください

⇒ _____

2. 農場の年平均（常時）飼養羽数を教えて下さい（○は1つ）

- ① () 1万羽未満
- ② () 1万羽以上 5万羽未満
- ③ () 5万羽以上 10万羽未満
- ④ () 10万羽以上 50万羽未満
- ⑤ () 50万羽以上 100万羽未満
- ⑥ () 100万羽以上 300万羽未満
- ⑦ () 300万羽以上

3. 農場内の鶏舎の種類別棟数を表の下線部にご記入ください

飼養形態 鶏舎タイプ		ケージ			平飼い (舎飼い)	放し飼い	その他
		従来型 (コンベンショナル)		エンリッチ			
		Aライン (ヒナ段)	直立				
開放鶏舎		_____棟	_____棟	_____棟	_____棟	_____棟	_____棟
ウインドウレス鶏舎							
従来型	陽圧式	_____棟	_____棟	_____棟	_____棟	_____棟	_____棟
	陰圧式	_____棟	_____棟	_____棟	_____棟	_____棟	_____棟
トンネル換気		_____棟	_____棟	_____棟	_____棟	_____棟	_____棟

4. 平成21年3月に作成された「アニマルウェルフェアの考え方に対応した採卵鶏の飼養管理指針」をご存知ですか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

■ 飼養管理について、お伺いします

I 観察・記録について

問1. 1日1回以上、鶏の健康状態を観察していますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問2. 飼養管理（健康状態、疾病、へい死や事故の発生の有無、治療やワクチン接種の履歴、死亡羽数、産卵の状況、舎内温度等）に関する記録を毎日記帳していますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

II 給餌・給水について

問3. 鶏の発育段階等に応じた飼料を給与していますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問4. 毎日、新鮮な飼料と水を十分に給与していますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問5. 毎日、新鮮な飼料や水を給与するため、給餌・給水ラインや給餌・給水器等の点検・確認を行っていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問6. 給餌器や給水器が、残渣や糞等で汚れた場合、定期的に清掃を行っていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問7. 鶏が不自由なく飼料を食べたり、水を飲んだりできていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

IV 飼養施設について

【農場で主に使用しているケージについてお答え下さい】

問 14. 農場で主に使用しているケージの1ケージ当たりの収容羽数は、次のどれに当てはまりますか（○は1つ）

- ① () 1羽
- ② () 2羽
- ③ () 3～4羽
- ④ () 5～6羽
- ⑤ () 7羽以上

問 15. ケージの高さは、次のどれに当てはまりますか（○は1つ）

- ① () 40cm未満
- ② () 40cm以上 45cm未満
- ③ () 45cm以上

問 16. ケージの間口は、次のどれに当てはまりますか（○は1つ）

- ① () 20cm未満
- ② () 20cm以上 30cm未満
- ③ () 30cm以上 40cm未満
- ④ () 40cm以上 50cm未満
- ⑤ () 50cm以上

問 17. ケージの奥行(卵受け部、糞乾燥置部は除く)は、次のどれに当てはまりますか（○は1つ）

- ① () 35cm未満
- ② () 35cm以上 45cm未満
- ③ () 45cm以上 55cm未満
- ④ () 55cm以上 65cm未満
- ⑤ () 65cm以上

問 18. 1羽当たりの飼養面積は、次のどれに当てはまりますか（○は1つ）

1) 開放鶏舎

- ① () 370cm²未満
- ② () 370～430cm²未満
- ③ () 430～490cm²未満
- ④ () 490～550cm²未満
- ⑤ () 550cm²以上

2) ウィンドウレス鶏舎

- ① () 370 cm²未満
- ② () 370～430 cm²未満
- ③ () 430～490 cm²未満
- ④ () 490～550 cm²未満
- ⑤ () 550 cm²以上

問 19. ケージの床の勾配は、次のどれに当てはまりますか (○は1つ)

- ① () 8° 未満
- ② () 8° 以上 10° 未満
- ③ () 10° 以上 12° 未満
- ④ () 12° 以上

問 20. ケージ内に産卵箱を設置していますか (○は1つ)

- ① () はい
- ② () いいえ

問 21. ケージ内に砂浴び場を設置していますか (○は1つ)

- ① () はい
- ② () いいえ

問 22. ケージ内に止り木を設置していますか (○は1つ)

- ① () はい
- ② () いいえ

【平飼いを行われている場合、以下の設問についてお答え下さい】

問 23. 平飼いで1羽当たりの飼養面積は、次のどれに当てはまりますか (○は1つ)

- ① () 370 cm²未満
- ② () 370～430 cm²未満
- ③ () 430～490 cm²未満
- ④ () 490～550 cm²未満
- ⑤ () 550～1,000 cm²未満
- ⑥ () 1,000 cm²以上

問 24. 採卵鶏用平飼いの飼養設備内に産卵箱を設置していますか (○は1つ)

- ① () はい
- ② () いいえ

問 25. 平飼いの飼養設備内に砂浴び場を設置していますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問 26. 平飼いの飼養設備内に止り木を設置していますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

V. 疾病・外傷等への対応

問 27. 鶏の怪我や疾病が発生した場合、迅速な治療等を行っていますか（○は1つ）

- ① () 行っている
- ② () 多少の外傷や症状が軽ければ経過を見て、悪化したら治療している
- ③ () 行っていない

問 28. 外傷や疾病の鶏が出た場合に他の鶏と分けて管理していますか（○は1つ）

- ① () 重症の場合、単房などに入れて分けて管理している
- ② () 分けていない

問 29. 農場内に病原体等を侵入させないための防疫対策をとっていますか（複数回答可）

- ① () 車両消毒等などの防疫施設を設置している
- ② () 踏込消毒槽を鶏舎の出入口に置くなどの防疫対策に心がけている
- ③ () 消石灰の散布を行っている
- ④ () 鶏舎内に野生動物が侵入しないようにネット等を張っている
- ⑤ () 外部者の出入規制
- ⑥ () 鶏舎毎の管理者配置
- ⑦ () 鶏舎毎の衣服、長靴等の交換
- ⑧ () その他（具体的に：_____）
- ⑨ () 特に行っていない

問 30. 農場の敷地を衛生管理区域（鶏舎等）とそれ以外区域（住居、車庫等）の境界を設定しているか（○は1つ）

- ① () 設定している
- ② () 設定していない

問 31. 作業動線を明確にして、防疫対策のため動線遮断を行っている（○は1つ）

- ① () している
- ② () していない

VI. 外科的処置等について

問 32. ビークトリミングを行っていますか（○は1つ）

- ①（ ） 素ひな導入時に行っている
- ②（ ） 導入時にすでに行われている
- ③（ ） 行っていない

問 33. ビークトリミングを行っている場合、通常、実施する時期は、次のどれに当てはまりますか（○は1つ）

- ①（ ） 初生雛
- ②（ ） 5日齢前後
- ③（ ） 幼雛
- ④（ ） 中雛
- ⑤（ ） 大雛

問 34. 換羽誘導を行っていますか（○は1つ）

- ①（ ） 行っている
- ②（ ） 行っていない

問 35. 換羽誘導を行っている場合、どのような方法で行っていますか（○は1つ）

- ①（ ） 絶水絶食併用法
- ②（ ） 絶食法
- ③（ ） 低栄養飼料切替法

VII. その他

問 36. 管理者が鶏舎内に入ったとき、鶏はどのような反応をしますか（○は1つ）

- ①（ ） 騒がず、大人しい
- ②（ ） 入った際には驚くが、その後すぐに静かになる
- ③（ ） 入っている間、ずっと騒いでいる

問 37. 捕鳥する際、鶏が怪我等をしないように注意して作業を行っていますか（○は1つ）

- ①（ ） はい
- ②（ ） いいえ

問 38. 将来的に農場での飼養管理を考える際に、アニマルウェルフェアを検討する必要がありますか（○は1つ）

- ①（ ） はい
- ②（ ） いいえ

ご協力ありがとうございます。